

<b>1 まちづくり協議会が設置された経過</b>	
<p>合併により市の規模が大きくなり、住民の声が届きにくくなるなどの住民不安を解消するために、地域住民が自治区に関する行政に参加することを目的に、まちづくり協議会が設置されました。</p>	
<b>2 まちづくり協議会の位置づけ</b>	
<p>まちづくり協議会は、市の附属機関にあたりますが、北見市自治区設置条例で規定され、個別の審議会条例等とは異なり、諮問された事項について答申するばかりではなく、自治区に関して自ら必要と認める事項について審議し、市長等に意見・要望ができることとなっています。</p>	
<b>3 まちづくり協議会の運営状況</b>	
<p>まちづくり協議会は、これまでの3年間に1協議会あたり年間平均10.8回開催されたほか、それぞれ自治区内の視察や勉強会なども随時開催されています。</p> <p>主な協議内容は、「自治区内事業の今後のあり方」や「防災対策を含めた地域コミュニティのあり方」について、市長が諮問し答申を受けたほか、「北見市の都市再生」、「北見市総合計画前期基本計画(案)」、「自治区制度のあり方」等について協議が行われました。</p> <p>また、平成19年度に創設された「まちづくりパワー支援事業」の審査も行っています。</p>	
<b>4 まちづくり協議会の課題と機能強化について</b>	
<b>(1) まちづくり協議会の役割について</b>	
①まちづくり協議会に対する諮問事項について	<p>「自治区内事業の今後のあり方について」では、自治区の実施計画に関わる3年間の事業について協議されますが、次年度の事業に審議が集中し、長期的な視点にたった協議につながらない状況にあります。</p> <p><b>【今後に向けて】</b></p> <p>「自治区内事業の今後のあり方について」は、今後も諮問をし、答申を受けることが必要です。</p> <p>また、自治区が持つ特色や歴史などを背景とした地域づくりについて、自治区に限定した内容の諮問など、協議会の役割や機能が十分に活かされるよう配慮し、総合計画に沿った事業について、一歩先を見据えた協議について検討する必要があります。</p>
②まちづくり協議会からの意見・要望について	<p>市長等からの諮問項目以外でも、協議会が必要と認める事項について審議し、意見・要望を行うことができることとなっており、地域のさまざまな課題について議論し、地域の声として反映できるような取り組みが期待されています。</p> <p><b>【今後に向けて】</b></p> <p>今後は、自治区が所掌する事務や自治区内住民との連携強化など、自ら協議し市長等に意見・要望を行うことが重要な役割と考えられ、市長等が受け取った答申や意見・要望は、その課題解決の方策を示し再度まちづくり協議会にフィードバックするなど、一連の流れに協議会が関わることにより、住民参加のまちづくりにつながっていくものと考えます。</p>

